

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2012年3月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	トレンド・アロケーション・オープン	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券、マネー・プール マザーファンド受益証券
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）	先進国の国債、世界各国のETF等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産へ、実質的に投資します。 ・安定的な資産成長のために、市場環境に応じて機動的な資産配分を行います。 ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

トレンド・アロケーション・オープン



第9期（決算日：2021年1月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「トレンド・アロケーション・オープン」は、去る1月25日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、トレンジ・アロケーション・オープン（以下、トレアロ）は、2021年1月25日に第9期の決算を迎えました。当期（2020年1月28日～2021年1月25日）におけるトレアロの運用成果は、コロナ・ショックによるリスク性資産の価格下落等を背景に、16.4%の下落となりました。なお、2020年3月13日に臨時のリバランスを実施し、短期債券・キャッシュ等を中心とした低リスク資産100%の極めて保守的なポートフォリオに移行しています。

当期の金融市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大とその対応等に世界中が翻弄された1年になりました。新型コロナウイルスの感染拡大が広がる中、2020年3月12日の株式市場は世界中で大幅下落し、米国株式の1日の動きとしては1987年のブラック・マンデーに次ぐ下落率となりました。

トレアロは投資対象ファンドを通じ、過去1年の高値からの下落率が15%以内に収まることを目指す運用戦略を有しています。2020年3月11日時点で過去1年の高値である2020年2月20日の基準価額から10.1%下落していたものの、その時点におけるポートフォリオの推定リスク量は最大許容損失率（15%－過去1年における高値からの下落率）の範囲内であり、一定程度のバッファを持っていた状況でした。一方で、2020年3月12日の市場は、前述の通り大幅な下落となり、運用におけるリスク管理の想定を上回る動きとなりました。その結果、基準価額は過去1年の高値である2020年2月20日から3月13日時点で、16.4%下落し最大許容損失率が0%となったことから、短期債券・キャッシュ等を中心とした低リスク資産100%の極めて保守的な運用に大きく舵を切りました。また、当期末時点においても、最大許容損失率が0%の状況が続いているため、引き続き、短期債券・キャッシュ等を中心とした低リスク資産100%の保守的な運用を継続しています。

なお、今後の運用方針については、過去1年の高値が切り下がって最大許容損失率が回復するまでは少なくとも現状の保守的な運用が続く見通しです。

トレアロは、2012年の設定から約9年に渡り、規律ある運用方針に則り運用を続けてまいりました。結果として、チャイナ・ショックや米中貿易摩擦などの金融市場の変動を何度となく乗り越えてきました。今後、基準価額が戻るには時間がかかるかもしれません。一方で、前述の通り、過去1年の高値が低下することによる最大許容損失率の回復が見込まれるタイミングも近づいてきたことを踏まえ、今後は高リスク資産を含めた投資戦略へ移行していくことが見込まれます。最後になりますが、今後ともトレアロを末永くご愛顧頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
ヘッド・オブ・マルチアセット・ジャパン
シニア・ポートフォリオ・マネージャー
スヴェトザー・ミランチェフ

上記は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税込み	分配金	期騰落中率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
5期(2017年1月25日)	11,586	0	0	4.8	—	—	99.0	115,711
6期(2018年1月25日)	12,967	0	0	11.9	—	—	99.3	137,401
7期(2019年1月25日)	11,468	0	0	△11.6	—	—	99.0	156,624
8期(2020年1月27日)	12,749	0	0	11.2	—	—	98.9	152,700
9期(2021年1月25日)	10,663	0	0	△16.4	—	—	98.9	108,034

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率
	騰 落 率	率			
(期 首) 2020年 1 月27日	円 12,749	% —	% —	% —	% 98.9
1 月末	12,631	△ 0.9	—	—	98.9
2 月末	12,255	△ 3.9	—	—	98.9
3 月末	10,797	△15.3	—	—	99.0
4 月末	10,779	△15.5	—	—	99.0
5 月末	10,765	△15.6	—	—	99.0
6 月末	10,751	△15.7	—	—	99.0
7 月末	10,738	△15.8	—	—	98.9
8 月末	10,724	△15.9	—	—	99.1
9 月末	10,711	△16.0	—	—	99.1
10 月末	10,698	△16.1	—	—	98.9
11 月末	10,686	△16.2	—	—	99.0
12 月末	10,673	△16.3	—	—	98.6
(期 末) 2021年 1 月25日	10,663	△16.4	—	—	98.9

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

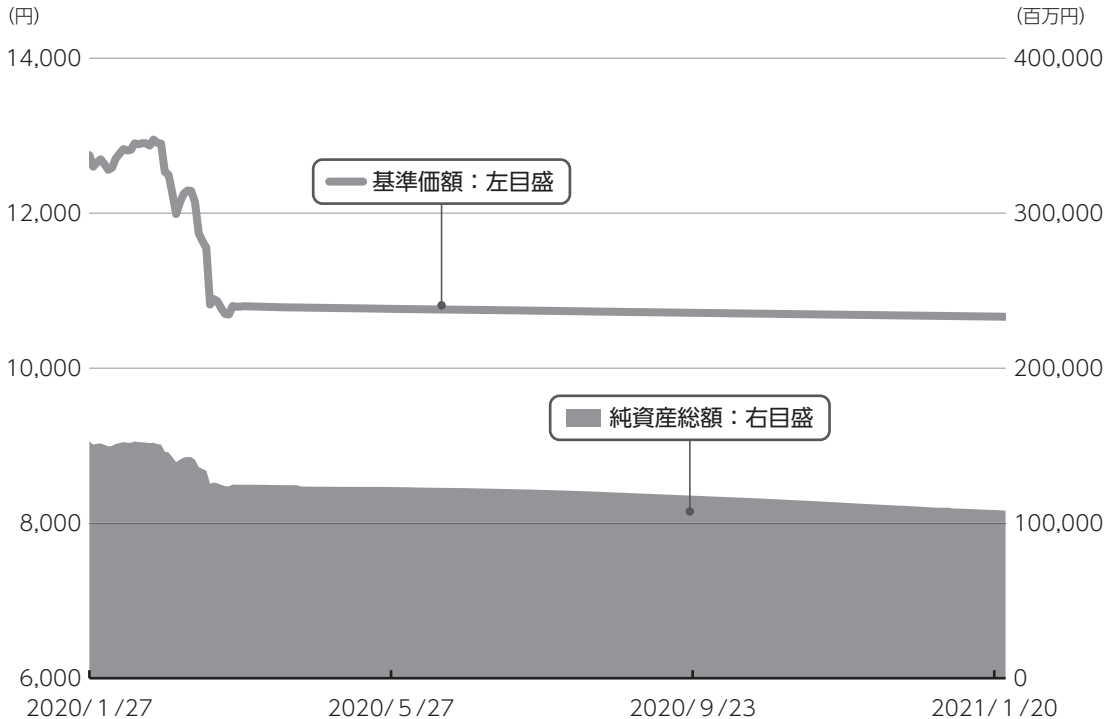
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第9期：2020年1月28日～2021年1月25日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第9期首	12,749円
第9期末	10,663円
既払分配金	0円
騰落率	-16.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.4%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

保有していた期間において、先進国株式や先進国社債などの資産の価格が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

▶ 国債市況

各国の国債市況は概ね低下しました。

米国の債券利回りは米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げなどから低下しました。欧州でも欧州中央銀行（ECB）の緩和的な金融政策などから債券利回りが低下しました。日本の債券利回りは日銀の金融政策などから概ね0%前後で推移しました。新興国の債券利回りは2020年3月に米国国債に対するスプレッドの拡大などにより上昇しましたが、その後はスプレッドも縮小し、期を通じてみると低下しました。

▶ 株式市況

米国や日本の株式市況は上昇、欧州は下落しました。

先進国の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、実体経済が停滞する懸念が高まったことなどから、2020年3月に大幅に下落しました。その後は新型コロナウイルスワクチンの実用化や各国政府の経済支援策、各国中央銀行の追加金融緩和などから上昇し、米国や日本では期を通じてみると上昇しました。一方、欧州では2020年3月の急落後、上昇基調で推移しましたが、戻りは限定的で期を通じてみると下落しました。

▶ リート、コモディティ

リートや原油価格は下落、金価格は上昇しました。

米国や日本のリート市場は、2020年3月に大きく下落し、その後は上昇したものの、期を通じてみると下落しました。原油価格は、原油在庫が増加したことなどを背景に、2020年4月に大幅に下落しました。その後は上昇しましたが、期を通じてみると下落しました。金価格は、金利の低下や米ドルの主要通貨に対する下落などから上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.017%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ **トレンジ・アロケーション・オープン**
 円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行いました。

▶ **ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）**

先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資しました。また、組入比率の調整を目的として、世界各国の先物取引も利用しました。

為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンジ・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築しました。

【トレンジ・アロケーション】

2020年2月までは高リスク資産の上昇トレンドが強かったことから、高リスク資産の比率を高めとしました。

【タクティカル・アセット・アロケーション】

基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」では、2020年2月までは高リスク資産の見通しを高めとしました。

【ダウンサイド・リスク・マネジメント】

2020年3月に最大許容損失率が0%となったことから、下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」による短期債券・キャッシュ等の組入比率の引き上げを行い、保守的な運用を継続しました。

これらの結果、期末の資産クラス別構成比は高リスク資産0.0%、低リスク資産100.0%となりました。

(ご参考)

■資産クラス別構成比

期首（現地2020年1月24日）

資産クラス		比率	
低リスク 資産	先進国国債	20.3%	32.6%
	先進国社債	3.5%	
	新興国国債	9.9%	
	現金等	-1.1%	
高リスク 資産	先進国株式	56.3%	67.4%
	新興国株式	9.0%	
	コモディティ	2.1%	
	リート	0.0%	

期末（現地2021年1月22日）

資産クラス		比率	
低リスク 資産	先進国国債	78.6%	100.0%
	先進国社債	0.0%	
	新興国国債	0.0%	
	現金等	21.4%	
高リスク 資産	先進国株式	0.0%	0.0%
	新興国株式	0.0%	
	コモディティ	0.0%	
	リート	0.0%	

- ・比率はダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）の純資産総額に対する割合です。
- ・現金等は、短期債券を含みます。また、為替ヘッジの含み損益を含むためマイナスになることがあります。
- ・資産クラス別構成比は、アリアンツ・グローバル・インベスターズからの情報提供を基に表示しています。
- ・各数値は表示桁数未満で四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

(注) 当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、
利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第9期
	2020年1月28日～2021年1月25日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,964

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ **トレンド・アロケーション・オープン**
引き続き、円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行います。

▶ **ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）**
先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資します。

為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行う方針です。

ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンスайд・リスク・マネジメント」を活用して構築します。

▶ **マネー・プール マザーファンド**
消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2020年1月28日～2021年1月25日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	76	0.690	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(36)	(0.329)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.007	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	77	0.697	

期中の平均基準価額は、10,958円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

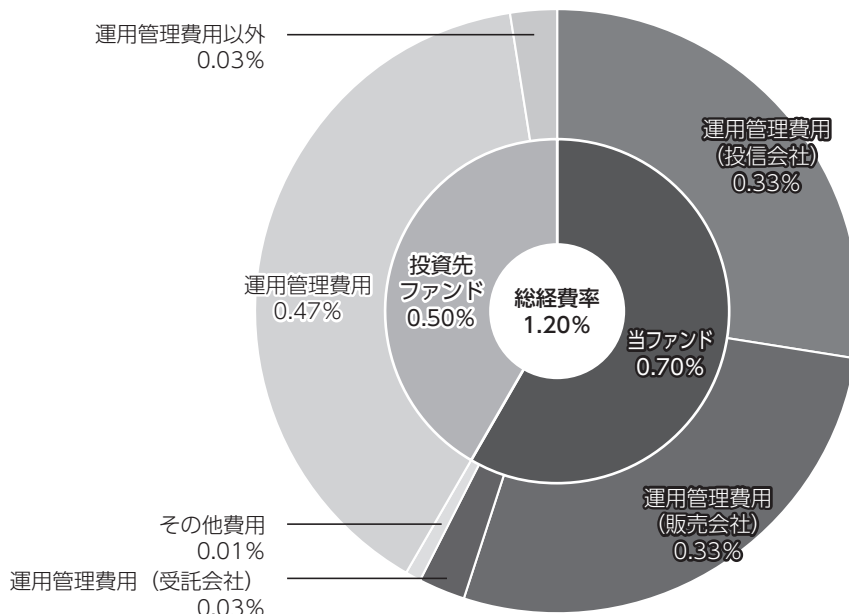
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.20%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.20
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.70
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.47
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.03

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年1月28日～2021年1月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	千口 —	千円 —	千口 20,916,215	千円 20,828,100

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月28日～2021年1月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年1月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	132,373,479	111,457,264	106,865,225	98.9
	合 計	132,373,479	111,457,264	106,865,225	98.9

(注) 比率はトレンド・アロケーション・オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当 期 末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・プール マザーファンド	997	997	1,001

○投資信託財産の構成

(2021年1月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	106,865,225	98.0
マネー・プール マザーファンド	1,001	0.0
コール・ローン等、その他	2,136,582	2.0
投資信託財産総額	109,002,808	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年1月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	109,002,808,328
コール・ローン等	1,742,481,586
投資信託受益証券(評価額)	106,865,225,346
マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,001,396
未収入金	394,100,000
(B) 負債	967,865,684
未払解約金	566,974,918
未払信託報酬	396,490,346
未払利息	420
その他未払費用	4,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	108,034,942,644
元本	101,321,264,706
次期繰越損益金	6,713,677,938
(D) 受益権総口数	101,321,264,706口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,663円

<注記事項>

- ①期首元本額 119,773,675,177円
 期中追加設定元本額 5,384,099,300円
 期中一部解約元本額 23,836,509,771円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0663円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年1月28日～ 2021年1月25日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	19,842,869,458円
分配準備積立金額	10,197,539,653円
当ファンドの分配対象収益額	30,040,409,111円
1万口当たり収益分配対象額	2,964円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2020年1月28日～2021年1月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 443,518
受取利息	10,116
支払利息	△ 453,634
(B) 有価証券売買損益	△19,524,706,669
売買益	3,485,703,489
売買損	△23,010,410,158
(C) 信託報酬等	△ 851,697,463
(D) 当期損益金(A+B+C)	△20,376,847,650
(E) 前期繰越損益金	6,904,833,204
(F) 追加信託差損益金	20,185,692,384
(配当等相当額)	(19,842,869,458)
(売買損益相当額)	(342,822,926)
(G) 計(D+E+F)	6,713,677,938
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	6,713,677,938
追加信託差損益金	20,185,692,384
(配当等相当額)	(19,842,869,458)
(売買損益相当額)	(342,822,926)
分配準備積立金	10,197,539,653
繰越損益金	△23,669,554,099

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、トレンド・アロケーション・オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）
運 用 方 針	アリアンツ・グローバル・インベスターズの「ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略」による運用を行います。 ・ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略は、「基本資産配分（トレンド・アロケーション）」、「基本資産配分に対する微調整（タクティカル・アセット・アロケーション）」、「下落リスクへの対応（ダウンサイド・リスク・マネジメント）」を組合せることにより、リスク調整後の良好なリターンを獲得を目指します。
投資顧問会社	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー ※アリアンツ・グローバル・インベスターズのドイツ拠点です。
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2012年3月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2020年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

投資収益

受取配当金（外国税額控除後）	¥	1,602,041,618
受取利息（外国税額控除後）		925,988,027
投資収益合計		2,528,029,645

費用

運用受託報酬		621,169,429
会計処理および管理手数料		125,021,853
保管費用		25,237,721
名義書換事務代行手数料		15,529,239
専門家報酬		5,517,888
受託者報酬		2,000,673
登録手数料		1,606,270
その他費用		715,551
費用合計		796,798,624

投資純利益 1,731,231,021

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券	(6,075,563,005)
先物取引	(3,275,864,966)
外国通貨取引および為替予約取引	2,862,502,481
実現純損益	(6,488,925,490)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	(2,055,083,522)
先物取引	(295,802,067)
外国通貨取引および為替予約取引	(2,363,598,771)
未実現評価損益の純変動	(4,714,484,360)

実現および未実現損益（純額） (11,203,409,850)

運用による純資産の増減（純額） ¥ (9,472,178,829)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2020年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

運用による純資産の増減額：		
投資純損益	¥	1,731,231,021
実現純損益		(6,488,925,490)
未実現評価損益の純変動		(4,714,484,360)
運用による純資産の増減額		(9,472,178,829)
分配額		(160,891,017)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額		(27,070,006,119)
純資産の増減額		(36,703,075,965)
純資産		
期首		160,216,985,870
期末	¥	123,513,909,905

Class A

ファンドユニット取引

ユニット数		
発行		350,651,561
買戻し		152,734,900
償還		(24,910,844,904)
ユニット増減数		(24,407,458,443)

金額		
発行	¥	371,011,681
買戻し		160,891,017
償還		(27,601,908,817)
ファンドユニット取引による増減額	¥	(27,070,006,119)

3. 投資明細表

(2020年3月31日現在)

(円で表示)

	元本金額	銘柄名	公正価値
		FIXED INCOME SECURITIES (61.3%)	
		JAPAN (57.6%)	
		GOVERNMENT BONDS (57.6%)	
		Japan Government 2 Year Bond	
JPY	10,000,000,000	0.10% due 07/01/20	¥ 10,006,000,000
JPY	5,000,000,000	0.10% due 12/01/20	5,009,050,000
JPY	7,000,000,000	0.10% due 01/01/21	7,014,420,000
JPY	7,000,000,000	0.10% due 02/01/21	7,016,170,000
JPY	10,000,000,000	0.10% due 03/01/21	10,025,000,000
JPY	10,000,000,000	0.10% due 04/01/21	10,025,800,000
		Japan Government 5 Year Bond	
JPY	10,000,000,000	0.10% due 12/20/20	10,019,800,000
		Japan Government 10 Year Bond	
JPY	581,700,000	1.00% due 09/20/21	591,362,037
		Japan Government 20 Year Bond	
JPY	10,000,000,000	1.90% due 03/22/21	10,198,300,000
		Japan Government 30 Year Bond	
JPY	900,000,000	2.00% due 09/20/40	1,197,792,000
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	71,103,694,037
		TOTAL JAPAN (Cost ¥70,951,617,374)	71,103,694,037
		UNITED STATES (3.7%)	
		GOVERNMENT BONDS (3.7%)	
		U.S. Treasury Note	
USD	10,000,000	1.38% due 02/15/23	1,109,355,564
USD	30,000,000	2.88% due 11/30/23	3,527,281,945
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	4,636,637,509
		TOTAL UNITED STATES (Cost ¥4,439,104,487)	4,636,637,509
		TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥75,390,721,861)	75,740,331,546
		SHORT-TERM INVESTMENTS (40.1%)	
		GRAND CAYMAN (0.0%)^(a)	
		TIME DEPOSITS (0.0%)^(a)	
		Brown Brothers Harriman & Co.	
AUD	2,393	0.02% due 04/01/20	158,241
CAD	3,324	0.04% due 04/01/20	253,972
USD	1,517	0.15% due 04/01/20	163,138
HKD	895	0.63% due 04/01/20	12,414
		TOTAL TIME DEPOSITS	587,765
		TOTAL GRAND CAYMAN (Cost ¥596,607)	587,765
		JAPAN (30.5%)	
		GOVERNMENT BONDS (20.7%)	
		Japan Treasury Discount Bill	
JPY	1,500,000,000	0.00% due 05/11/20	1,500,509,362
JPY	7,000,000,000	0.00% due 06/22/20	7,004,560,462
JPY	7,000,000,000	0.00% due 03/22/21	7,013,790,385
JPY	10,000,000,000	0.00% due 06/29/20	10,004,596,703
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	25,523,456,912
		TIME DEPOSIT (9.8%)	
		MUFG Bank, Ltd.	
JPY	12,128,614,120	(0.27)% due 04/01/20 ^(b)	12,128,614,120
		TOTAL TIME DEPOSIT	12,128,614,120
		TOTAL JAPAN (Cost ¥37,652,071,032)	37,652,071,032

(2020年3月31日現在)

(円で表示)

	元本金額	銘柄名	対純資産比率	公正価値
		SHORT-TERM INVESTMENTS (40.1%) (continued)		
		SWITZERLAND (0.0%)^(a)		
		TIME DEPOSIT (0.0%)^(a)		
CHF	43,198	Credit Suisse AG (1.86)% due 04/01/20 ^(b)		¥ 4,825,841
		TOTAL TIME DEPOSIT		<u>4,825,841</u>
		TOTAL SWITZERLAND (Cost ¥4,898,438)		<u>4,825,841</u>
		UNITED STATES (9.6%)		
		GOVERNMENT BONDS (9.6%)		
USD	60,000,000	U.S. Treasury Bill 0.00% due 09/17/20		6,452,045,026
USD	50,000,000	0.00% due 02/25/21		5,368,857,552
		TOTAL GOVERNMENT BONDS		<u>11,820,902,578</u>
		TOTAL UNITED STATES (Cost ¥12,032,504,438)		<u>11,820,902,578</u>
		TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost ¥49,690,070,515)		<u>49,478,387,216</u>
		TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥125,080,792,376)	101.4%	¥ 125,218,718,762
		LIABILITIES IN EXCESS OF CASH AND OTHER ASSETS	(1.4)	(1,704,808,857)
		NET ASSETS	100.0%	¥ 123,513,909,905

^(a) A zero balance may reflect actual amounts rounding to less than 0.05%.

^(b) Due to deposit rate cuts by the central Bank in Japan and European central banks, interest rates for Japanese Yen and Swiss Franc-denominated short term investments may be less than zero percent.

ファンドレベルでの為替予約取引残高

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
EUR	Brown Brothers Harriman & Co.	100,500,000	06/17/2020	JPY	11,975,379,000	¥ -	¥ (60,737,625)	¥ (60,737,625)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	50,353,020,000	06/17/2020	USD	474,000,000	-	(445,393,889)	(445,393,889)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	11,916,084,000	06/17/2020	EUR	100,500,000	1,442,625	-	1,442,625
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	320,000,000	06/17/2020	JPY	35,171,840,000	-	(877,552,142)	(877,552,142)
						¥ 1,442,625	¥ (1,383,683,656)	¥ (1,382,241,031)

(2020年3月31日現在)

(円で表示)

デリバティブの額

取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	担保の 受取	担保の 差入れ	純額	
店頭デリバティブ						
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co.	¥ 1,442,625	¥ (1,383,683,656)	¥ -	¥ -	¥ (1,382,241,031)
マスターネットリング契約の 対象とならないデリバティブ合計		¥ 1,442,625	¥ (1,383,683,656)	¥ -	¥ -	¥ (1,382,241,031)
資産負債におけるデリバティブ合計		¥ 1,442,625	¥ (1,383,683,656)			

通貨略称

AUD	-	Australian Dollar
CAD	-	Canadian Dollar
CHF	-	Swiss Franc
EUR	-	Euro
HKD	-	Hong Kong Dollar
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第23期》決算日2021年1月14日

[計算期間：2020年7月15日～2021年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純総資産額
		騰落	率					
	円		%		%			百万円
19期(2019年1月15日)	10,043		△0.0		—		—	159
20期(2019年7月16日)	10,042		△0.0		—		—	147
21期(2020年1月14日)	10,041		△0.0		—		—	130
22期(2020年7月14日)	10,041		0.0		—		—	117
23期(2021年1月14日)	10,041		0.0		—		—	230

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2020年7月14日	10,041		—		—		—
7月末	10,041		0.0		—		—
8月末	10,041		0.0		—		—
9月末	10,041		0.0		—		—
10月末	10,041		0.0		—		—
11月末	10,041		0.0		—		—
12月末	10,041		0.0		—		—
(期末)							
2021年1月14日	10,041		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

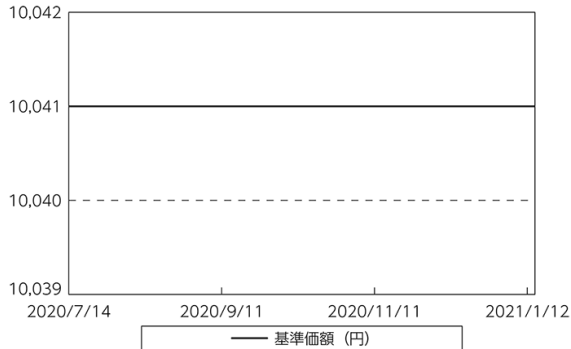
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.008%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年7月15日～2021年1月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年7月15日～2021年1月14日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 9,499,993	千円 9,399,994

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月15日～2021年1月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年1月14日現在)

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 86.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2021年1月14日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
その他有価証券	千円 199,999	% 86.6
コール・ローン等、その他	30,933	13.4
投資信託財産総額	230,932	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年1月14日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	230,932,089
コール・ローン等	30,932,298
その他有価証券(評価額)	199,999,791
(B) 負債	3
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	230,932,086
元本	229,994,634
次期繰越損益金	937,452
(D) 受益権総口数	229,994,634口
1口当たり基準価額(C/D)	10,041円

<注記事項>

- ①期首元本額 117,291,588円
 期中追加設定元本額 138,122,469円
 期中一部解約元本額 25,419,423円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0041円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	124,640,760円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	51,563,170円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	22,236,929円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ユーロコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ユーロコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 成長型	99,562円

○損益の状況 (2020年7月15日~2021年1月14日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 6,009
受取利息	309
支払利息	△ 6,318
(B) 当期損益金(A)	△ 6,009
(C) 前期繰越損益金	481,372
(D) 追加信託差損益金	566,253
(E) 解約差損益金	△104,164
(F) 計(B+C+D+E)	937,452
次期繰越損益金(F)	937,452

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

U S短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T Xーウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
合計	229,994,634円